

検証 JR革マル浸透と組織私物化の実態！

民主化闘争情報[号外] 2009年9月30日 発行 日本鉄道労働組合連合会(JR連合)【No.52】

革マル活動家がJR総連系機関誌に寄稿！

JR総連・東労組と革マル派との密接な関係を示す状況証拠は枚挙に暇がないが、松崎明氏が会長を務める「国際労働総研」の機関誌「われらのインター」で、最近、彼らが革マル派だと指摘してきた人物による記事が続けて掲載されたので、この問題を検証したい。

同誌の「Vol.22」(2009年6月15日)「Vol.23」(7月15日)には、「平野君の組合員権停止無効裁判全面勝利！JR九州ユニオン指導部…冥土への旅立ちの始まり」との記事が連続で掲載されたが、末尾には 文責・小西富士雄 国際総研主任研究員 とある。また、「Vol.24」(8月15日)の「直心・直言」なるコーナーでは、小西氏の「親亀コケたら、皆こけた?!」との文章が、さらに同コーナーで、神保順之氏による「拝啓 石津様」との文章が掲載された。神保氏の肩書きは「動労新鶴見支部OB会員」となっている。

革マルだと糾弾した人物が「国際総研主任研究員」とはどういうことか！

ここで出てきた小西氏、神保氏とは、2000年の「九州労大量脱退事件」「坂入事件」の際、JR総連が革マル派と断じて糾弾した人物である。その人物が「われらのインター」に記事を掲載しているとはどういうことか。さらに、小西氏は「国際総研主任研究員」というから驚きだ。両氏に関して、経過を順次説明していきたい。まず、「坂入事件」でJR総連小田委員長(当時)が提出した告発状の一部を再度紹介する(No.31参照)。

告発状(告発人 小田裕司[注:JR総連委員長(当時)]、被告発人 氏名不詳) 告発事実

2. 坂入充さんは、...(後略)

(1) 11月3日、午前10時35分頃、「浅野です。旦那さんと討論させてもらおうと思って、いずれ本人からも連絡してもらいます」との電話が坂入さんの自宅へありました。浅野という人は革マル派の活動家のようです。

3. 坂入充さんが革マル派に拉致、監禁され、自己批判を強要されている原因は、

(2) -(前略)-なお、集団脱退に関連して10月9日午後2時半頃、JR九州労組合事務所に革マル派と思われる小西某、神保某、浅野某という3人が乱入し、暴行、窃盗を重ねました。このときの浅野某が、前述の電話の浅野と同一人物のようです。

(3) 11月11日、午前10時45分頃、JR総連加盟のJR九州労の組合書記、小西光子(11月10日に解雇通告)がJR九州労組合事務所に来て、このたびのJR九州労の大量脱退に関し、「坂入さん本人が、『大量脱退劇は、坂入さん、田岡さん、船戸さん、北さんで意思し、決めたことであつた』と言っている」と述べています。11月11日現在、「坂入さん本人」から話を聞けるのは、拉致した者かその仲間以外にはいないはずです。

「小西某」は小西富士雄氏、「神保某」は神保順之氏のこと。小西光子氏は富士雄氏の妻である。宗形明著「もう一つの『未完の国鉄改革』」(高木書房)によると、小西氏は鳥栖機関区出身の元動労の革マル派九州政治局員、神保氏は動労中央本部役員の地位に長期間あった新鶴見機関区出身の人物という。事件から9年近く経ち、再び登場してきた革マル活動家。執行猶予が解けたとでも思ったのかも知れないが、過去は消えない。JR総連は、自ら革マルと認めた人物について、明確に説明する責務があるはずだ！

「検証・JR革マル浸透と組織私物化の実態！」はJR連合ホームページに掲載中！ <http://homepage1.nifty.com/JR-RENGO>